

■ NIPPONIA

第2回 NIPPONIAサミット 「なつかしくて、あたらしい、日本の暮らしをつくる」 サステナブル社会と地域の未来

2020.11.18(WED)13:00-16:30

アフターコロナの世界を「地域のサステナブルな発展とはなにか」を観点に、
活動の基点や団体の構成主体が異なる3事例から考えます



プログラム

12:30開場

13:00 開会

13:05~13:10 開会挨拶

13:10~14:40 **事例発表**

導入 (株)美ら地球CEO 山田拓

- 1) 出雲(島根) (一社)木綿街道振興会専務理事 事務局長 平井敦子
- 2) 大洲(愛媛) (一社)キタ・マネジメント事務局次長 村中元
- 3) 甲佐(熊本) (一社)パレット理事 米原 賢一

14:40~14:55 休憩

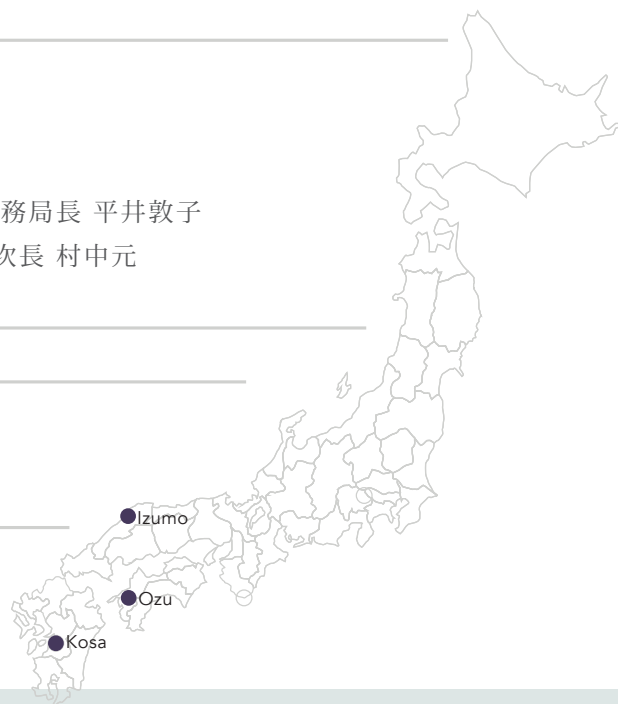
14:55~16:25 **パネルディスカッション**

ファシリテーター 山田拓

パネリスト 平井敦子・村中元・米原 賢一

16:25~16:30 閉会挨拶

16:30 閉会



会場 アクロス福岡 イベントホール

〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1丁目1番1号

西鉄福岡天神駅から徒歩10分/

地下鉄空港線天神駅から徒歩5分(16番出口直結)/

地下鉄七隈線天神南駅から徒歩7分(5番出口)

会費 3,000円

申込 <https://team.nipponia.or.jp/blog/1494/>

主催 NIPPONIA協会

NIPPONIA協会は、城下町、宿場町、集落等の歴史地区を、歴史的建築物に滞在しながら地域の食文化、生活文化を体験できる地区としての再生を推進するとともに、そのネットワークを形成して、地域の発展と豊かな国土づくりに資することを目的としています。

登壇者

ファシリテーター



山田 拓 やまだ たく

(株)美ら地球CEO

外資系コンサルティング会社を退職し、足かけ2年にわたる世界のツーリズムを学ぶ旅を経て、飛騨古川に移住。「里山からSATOYAMAへ」を掲げ、イナカを巡る外国人向けプラットフォームSATOYAMA EXPERIENCEをはじめ、民家などの地域資源を活用したグローバルマーケットを視野に入れた数々の地域再生ソリューションをプロデュース。2013年、地域づくり総務大臣表彰にて個人表彰を受けるほか、グッドデザイン賞、環境大臣賞など、多方面からの評価を受ける。近年は古民家をオフィス用途に転用した「里山オフィスプロジェクト」にも着手。著書に「外国人が熱狂するクールな田舎の作り方」(新潮新書)

2007年、「日本の田舎をクールにしたい!」の想いで、飛騨の農村集落を自転車で巡る外国人向けのガイドツアーで、多数の外国人旅行者を飛騨に誘客した。10周年の今、飛騨古川の歴史的景観地区に分散型ホテル構想を実現させた。木造新築と古民家再生を進める本プロジェクトは日本各地の田舎で町並みと暮らしを100年後に継承するモデルとなることを目指している。



パネリスト



平井敦子 ひらい あつこ

(一社)木綿街道振興会専務理事、事務局長

島根県奥出雲町生まれ。結婚により平田市(現出雲市平田町)へ。医療系の会社に13年間勤務後、平成11年退社。平成13年より木綿街道のまちづくりに携わり現在に至る。木綿街道の町なみや老舗の仕事、住んでいる人達を愛し、街道の皆さんの仕事や暮らしが、この先もずっと変わりなく穏やかに幸せに続いていくことを願いながら活動を続けている。

江戸から明治にかけて雲州木綿の集散地として栄えた「木綿街道」の町並みを守り、景観、歴史、文化を活かした地域振興を目的に平成16年に設立。平成30年法人化。総務省地域づくり総務大臣表彰団体表彰、あしたのまち・くらしづくり活動賞内閣官房長官賞、住まいのまちなみコンクール国土交通大臣賞など活動への評価を受けている。



パネリスト



村中 元 むらなか はじめ

(一社)キタ・マネジメント事務局次長

愛媛県大洲市生まれ。1997年大洲市役所入庁。文化財保全、大洲城復元、財政再建、市長秘書を経て、2015年から官民連携による観光まちづくりに携わる。これまで大洲市の観光戦略に係る諸計画を作成し、地域DMOの設立、文化財等の歴史的資源の活用事業などを実行。2020年4月から現職。官と民の中間組織としての地域DMOを運営しながら、地域の持続的な発展のためのまちづくりシステムを構想中。

大洲市は、愛媛県の西部にあり、江戸時代には伊予大洲藩の城下町として栄えた地域。今も江戸から昭和にかけてそれぞれの時代を象徴する建物が存在している。また、海、川、山を含む自然豊かで風光明媚なまち。キタ・マネジメントは、このような大洲の歴史や文化、自然を活かすことで、その資源を未来に繋いでいくことを設立の目的としている。



パネリスト



米原 賢一 よねはら けんいち

(一社)パレット 理事 / (株)Drawing 代表取締役

熊本県上益城郡甲佐町生まれ。県内大学を卒業後、地場の広告会社へ入社。熊本、東京で活動後、2017年6月からLPガス事業を行う家業の合資会社 福田屋へ。2018年「一般社団法人パレット」を設立、理事就任。その後、2019年「株式会社Drawing」、代表取締役へ。甲佐町において、ひとづくりまちづくりを行う組織として町の発展に寄与すべく活動中。

「甲佐町で、子どもを育てたい、暮らしたいと思ってもらえるようなひとづくり、まちづくりの推進」を理念に設立。甲佐町内外の様々なひとや団体との連携のもと、甲佐の自然、伝統、食、街並みなど、すべての地域資源の魅力を発掘、または向上させ、甲佐町の交流人口の増加による地域経済の循環を通じた持続可能なまちづくりを目指し、また、スポーツや文化活動を行う交流の場の形成を通じた健康の増進を図り、その結果すべての町民がしあわせを感じられるような地域づくりを推進することを目的とする。

